

# 岡山旭り回-タリ-クラブ

国際ロータリー 第2690地区 第10グループ

題字：難波俊弘？

## 週報 Weekly Bulletin

【事務局】〒700-0904 岡山市北区柳町 2-11-20 ダイトクビル 3 階  
 TEL. 086-801-0080 FAX.086-221-5353 E-MAIL: info@okayama-asahigawa-rc.com  
 【例会場】 アークホテル岡山 〒700-0907 岡山市北区下石井 2-6-1 TEL.086-233-2200  
 【例会日】 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30)



よいことの  
ために  
手を取りあおう

2025 - 2026 年度  
国際ロータリー会長のメッセージ

よいことのために手を  
とりあおう

国際ロータリー会長  
マリオ・セザール・マルティンス  
・デ・カマルコ

地区のメッセージ  
UNITE FOR GOOD

今期のクラブテーマ 「Enjoy and grow!」 会長 難波 俊弘

1 月第 4 回例会 (No.1603)

2026 年 1 月 28 日

★本日のプログラム 「山歩部活動報告」 中川雄二会員

★次回のプログラム (2 月 4 日) 「誕生日・結婚記念日・入会記念日お祝いのスピーチ」

☆誕生日…中田会員 (1 日)、吉田会員 (15 日)、木村会員 (25 日)

☆結婚記念日…中田会員 (1 日)、難波俊弘会員 (8 日)、有澤会員 (27 日)

### 前 回 例 会 記 録

- ★会員数 31 名 (内出席規定適用免除 (b)2 名)
- ★出席者 19 名 (内免除者 2 名) 出席率 61.29%
- ★会長報告 ①第 10・11 グループ合同 IM 参加の報告。(会員 15 名参加)
- ★幹事報告 ①2028-29 年度 2690 地区ガバナーとして出雲南ロータリークラブの原田明成氏が正式決定され、宣言書が届いております。  
 ②IMのお礼状とハイライトよねやま 1 月号を回覧します。  
 ③本日例会後、クラブ協議会を開催します。

★本日のメニュー 帆立 辛子酢みそ和え 豚角煮 筍と海老の天ぷら 白ご飯 漬物 吸物 デザート

★次回のメニュー 蛸と彩り野菜のエスカベッシュ チキンと小燕のクリーム煮込み デザート パン  
 コーヒー

★スマイル 8,000 円 (累計 493,000 円)

【難波俊弘】 IM 参加の皆様、おつかれ様でした。谷本幹事が途中で飲酒していたので、注意しておきました。

【谷本】 先日の IM お疲れ様でした。本日、クラブ協議会宜しくお願ひします。

【難波宏】 IM に参加の皆様、ご苦労様でした。残念ながら私は懇親会からの参加になってしまいました。すみませんでした。

2025 - 2026 年度 役員・理事

会長・理事 難波俊弘	幹事 谷本博樹	副 S A A 高木路彦	理事(青少年奉仕委員長) 小西英昭
副会長・理事 入江 修	副幹事 難波 宏	理事(社会奉仕委員長) 中川雄二	理事(親睦活動委員長) 蔭山達也
	会 計 小林弘憲	理事(職業奉仕委員長) 中田 亨	直前会長 塩出純二
	S A A 須賀保男	理事(国際奉仕委員長) 有澤和久	会長エレクト 入江 修

【宇佐美】 先日の IM、高嶋哲夫先生の講演、とても刺激的でした。「世界の中での日本の地位低下」「東京一極集中の中での地方の衰退」「確実にやってくる東南海地震を含む複合災害」の3つの課題を解決するための連立方程式を作ることが政治家のすべき政策立案だと思うのですが、バラまきに奔走する現在の政治家と政党にはトホホです。やはり IM は素晴らしいです。

【小西】 会長、幹事はじめ IM 参加の皆様、ご迷惑をおかけしました。明日、スマホが修理完了するので谷本幹事からの LINE を拝見します。申し訳ありません。(2,000)

【妹尾晴充】 先日の IM に参加した皆様、お疲れさまでした！

【須賀】 IM に参加された皆様、おつかれさまでした。

「職業奉仕月間卓話～職業奉仕について～」 中川雄二会員、妹尾晴充会員



## 「四つのテスト」の由来

四つのテスト  
言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



1932年、大恐慌の時代、バタバタと企業が倒産し、商業倫理もずさんでいました。そんな中、シカゴの実業家ハーバート・テイラーさんは、倒産寸前のアルミ食器会社の再建を依頼されました。

その後、テイラーさんの手腕と努力によって会社は見事に立ち直り、10年後には一流企業に成長しました。その大成功の秘訣が「四つのテスト」でした。テイラーさんは、荒廃した社会風潮の中で、他社にない清廉な倫理観や世の中に模範となるような価値観を、わずか4行のわかりやすい言葉で作成し、全従業員に暗唱させ、日々の仕事の行動指針としました。従業員たちはお客や取引先と接するとき、「真実・公平・みんなのため」と唱えながら仕事に励みます。相手は驚き、感動し、信頼し、そして次の仕事も依頼しました。こうして、次第に大きな成功につながっていったのです。

テイラーさんは、この成功の秘訣を独り占めにしませんでした。惜しげもなく公開し、1954年、RI会長就任に際して、「四つのテスト」の権利をRIに無償で譲渡したのです。

以来、「四つのテスト」は、ロータリークラブの職業奉仕の理念を端的に表すものとして、世界中のクラブで提唱されているのです。